Town Topics ～まちのわだい～

★鏡町の魅力再発見！

平成 20 年度ふる郷愛鏡祭

▲ ロアッソ君（右端）と愛ちゃん（右から３番目）も応援した畳投げ大会

５月 25 日、鏡支所周辺でふる郷愛鏡祭が行われ、家族連れなど約 13,000 人の来場者で賑わいました。

▲ 人気を呼んだ「かがみ丼」

畳投げ大会やミニ網入れ大会、愛鏡ポテトイモ堀り大会、大声コンテストなどが行われ、来場した子どもたちも満面の笑み。さらに野菜や海苔、油まで全てを地元の食材にこだわった「かがみ丼」が 500 食限定で無料配付され、約 30 分で配付がなくなるほどの人気でした。

★妙見さんを盛り上げよう！

八代妙見祭活性化協議会を設立

▲設立総会の様子

６月６日、八代の伝統的な祭り「妙見祭」の保存継承と振興を目的として、市内の経済・文化・観光等の団体で組織する「八代妙見祭活性化協議会」が設立されました。

設立総会では、県指定の重要無形文化財である神幸行列の「国指定」を大きな目標の一つと掲げ、御夜の充実や子どもたちの体験教室、祭礼衣装の整備など、周知・体験・整備の３つのプログラムに分けた各種の事業が確認されました。

★ふるさとの元気を配信

第３回泉町特産品まつり

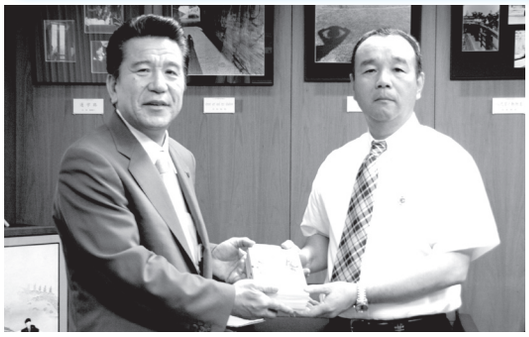
６月１日に「新緑の里・泉町特産品まつり」が泉運動公園で開催されました。

▲地元保育園（栗木・下岳・五家荘）合同演舞

祭りは、園児たちのオープニング遊戯や地元の女性による泉姫鬼山太鼓に始まり、ブラスバンド演奏や郷土芸能、中国雑伎などのほか、「みずき舞」、「伍代夏子」の歌謡ショーも行なわれました。

また、地元農産物の品評会の表彰式も行われ、特産品販売コーナーでは、今年の品評会で入賞したお茶や椎茸などの展示販売、ヤマメや地鶏の炭火焼き、八代農業高校泉分校の学生による花やようかんの販売も行なわれました。

★シンクロの魅力を伝えたい



▲右から：草原光雄さんと坂田市長

６月５日、千丁町の草原光雄さんから、図書「日本シンクロ栄光の軌跡」54 冊が市に寄贈されました。

これは、北京オリンピックのシンクロナイズドスイミング日本代表である原田早穂（はらだ　さほ）選手と親戚関係にある草原さんが「多くの人にシンクロの素晴らしさを知ってもらいたい」と贈ったもので、坂田市長から「子どもたちや市民のために活用したい」と、お礼が述べられました。図書は、市内の小・中学校や図書館に配布されます。